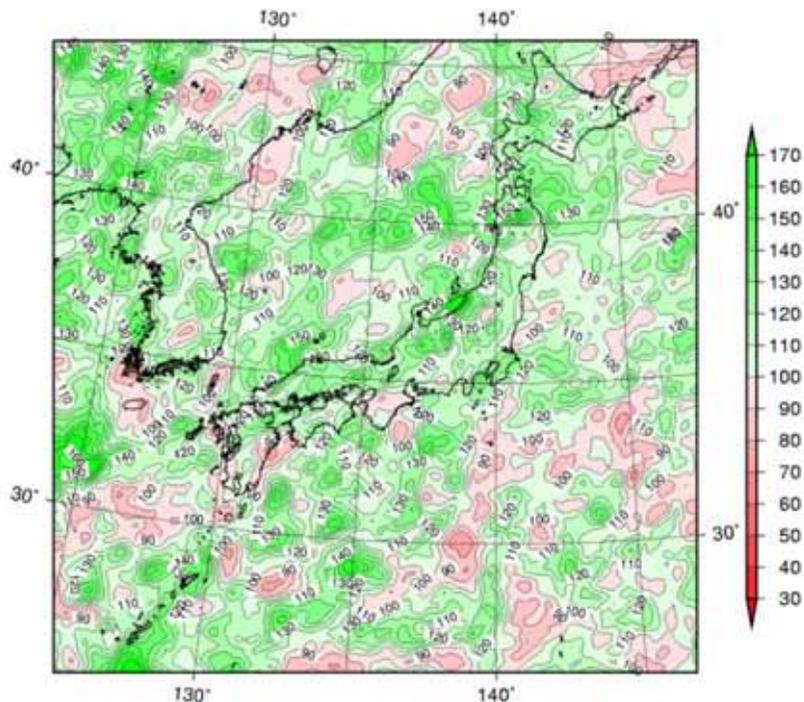


豪雨の激化：日降水量の増大・豪雨日数の増加

最大日降水量が増大

最大日降水量変化率 (%)
(2081 ~ 2100年平均値) / (1981 ~ 2000年平均値)

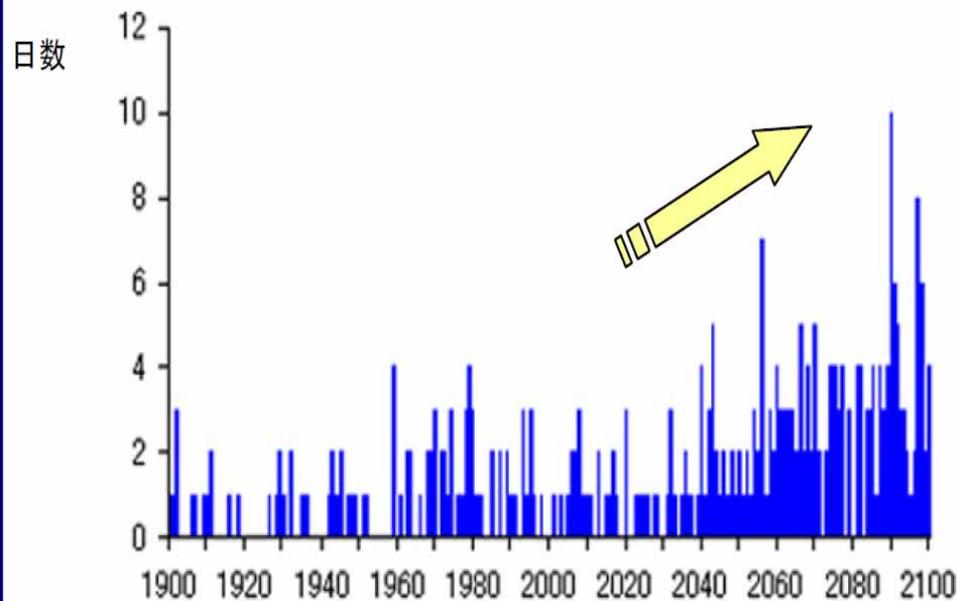


出典：地球温暖化予測情報第6巻(気象庁、H17.3)

最大日降水量は全国的に増加の傾向で、概ね**1から1.5倍程度**

夏季の降雨が増大

夏季の豪雨日数の経年予測
(日降水量100mm以上)

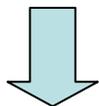


(出典)平成16年9月16日の東京大学など合同研究チームによる報道発表より

日降水量が100mm以上となる豪雨日数は、現在の年3回程度から増加し、**年最大10回程度**にまで増加すると予測

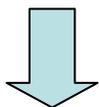
適応策の検討の進め方

気候変動の予測



災害リスクの増大
について予測

- 流域ごとの洪水発生の増加予測
- 流域ごとの安全度の低下の評価



目標の再設定

気候変動の予測を行うモデルの解像度は年々進歩

IPCC 1次報告書(1990)
水平解像度 約500km

IPCC 2次報告書(1996)
水平解像度 約250km

IPCC 3次報告書(2001)
水平解像度 約180km

IPCC 4次報告書(2007)
水平解像度 約110km

GCM20, RCM20
水平解像度 約20km

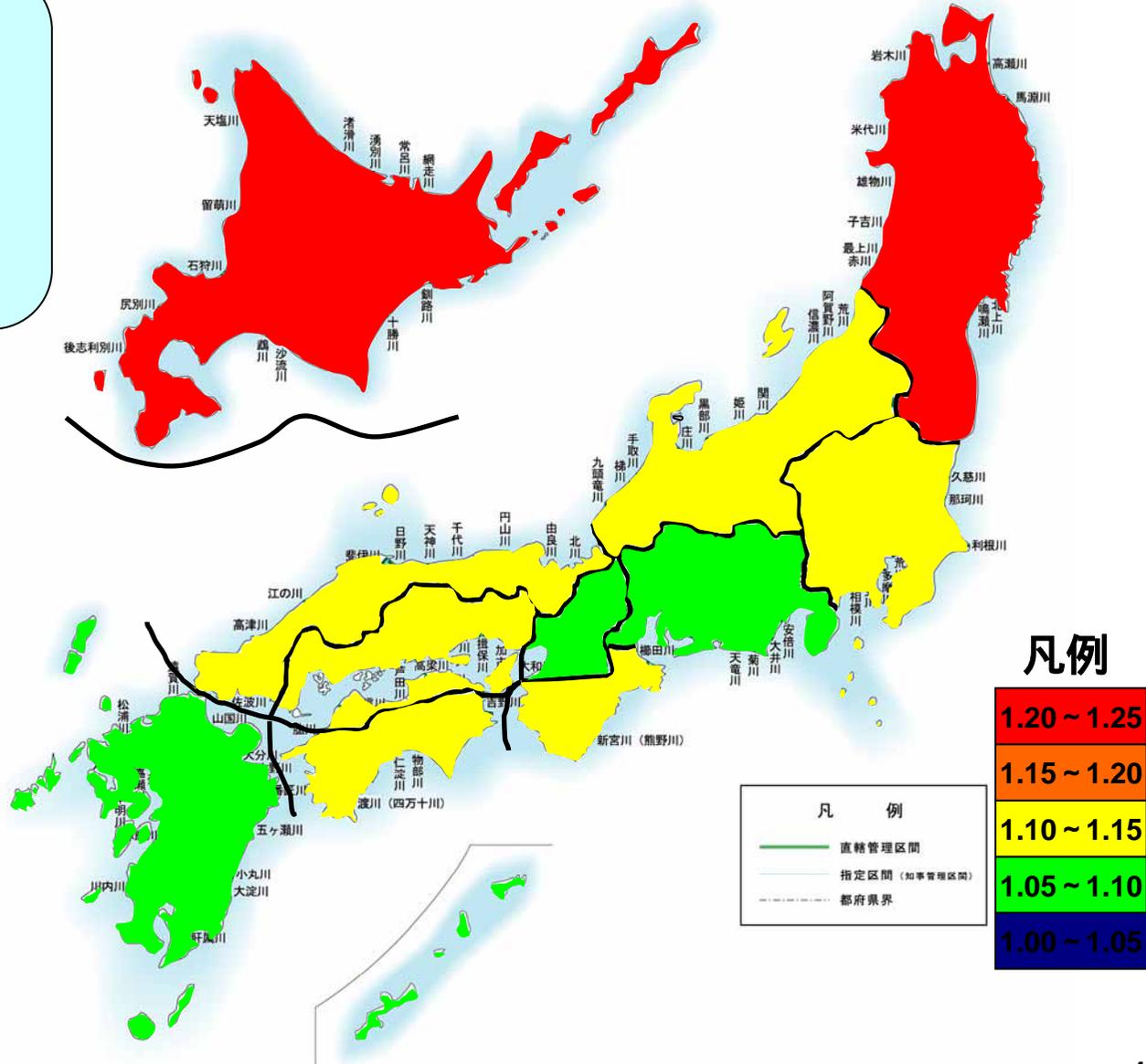
メッシュの大きさを表現したもので、実際のメッシュ箇所とは関係ない

河川局作成

降水量増加の地域分布

GCM20 (A1Bシナリオ)で求めた
各調査地点の年最大日降水量から
(2080-2099年の平均値)
(1979-1998年の平均値) を求め
将来の降雨量を予測(上記の中位値)

北海道	1.24
東北	1.22
関東	1.11
北陸	1.14
中部	1.06
近畿	1.07
紀伊南部	1.13
山陰	1.11
瀬戸内	1.10
四国南部	1.11
九州	1.07



降水量増加による治水安全度の低下

100年後の降水量の変化が治水安全度に及ぼす影響

地域名	将来の治水安全度（年超過確率）					
	1/200（現計画）		1/150（現計画）		1/100（現計画）	
	水系数		水系数		水系数	
北海道	-	-	1/40～1/70	2	1/25～1/50	8
東北	-	-	1/22～1/55	5	1/27～1/40	5
関東	1/90～1/120	3	1/60～1/75	2	1/50	1
北陸	-	-	1/50～1/90	5	1/40～1/46	4
中部	1/90～1/145	2	1/80～1/99	4	1/60～1/70	3
近畿	1/120	1	-	-	-	-
紀伊南部	-	-	1/57	1	1/30	1
山陰	-	-	1/83	1	1/39～1/63	5
瀬戸内	1/100	1	1/82～1/86	3	1/44～1/65	3
四国南部	-	-	1/56	1	1/41～1/51	3
九州	-	-	1/90～1/100	4	1/60～1/90	14
全国	1/90～1/145	7	1/22～1/100	28	1/25～1/90	47

将来の降水量の増加による治水安全度の低下

